

**平成25年第6回周南市議会定例会一般質問通告一覧表**  
(平成25年9月5日～9月10日)

## **1 田中 和末（刷新クラブ）**

### **1 市政運営について**

- (1) 市長就任後、3つの基本方針、6つのプロジェクトを掲げ2年余りが経過した。これまでの市政運営をどのように総括されているか。
- (2) 手法に関する基本方針（自助・共助・公助、創発的なまちづくり）、行財政改革に関する基本方針（選択と集中）への市民の理解をどのように図ってきたか。また、理解は得られているか。
- (3) 財政運営について
  - ア 健全財政に向けた取り組みと現状は。
  - イ 「選択と集中」の基準は。
  - ウ 来年度より、交付税の一本算定へ向けた逡減が始まり、平成31年度からは、約26億円の減額の見通しとなっている。その対応についての取り組みは。また、一本算定の開始時期の変更はあるか。
  - エ 臨時財政対策債について、基準財政需要額に算入され交付税措置がされるとはいえ、健全な状態ではない。その見解と対応は。

### **2 子育て支援について**

- (1) 「周南市就学前児童通園施設の今後の在り方」において、公立幼稚園では夜市、戸田、湯野、沼城、鹿野が、また、公立保育所では沼城、鹿野が幼保一体化施設への検討対象になっていたが、その検討結果は。また、幼保一体化施設に対する基本的な考え方は。
- (2) 周南市公立保育所の再編整備について
  - ア 第一次計画において、民間事業者による運営・建てかえの整備方針が示されたが、社会福祉法人等の法人格を有する民間保育所の参入の見通しはあるのか。
  - イ 民間譲渡の場合、職員配置や施設整備、保育内容等について、基本的に市の関与ができない。保育の質、量の維持・向上に向けたルールをつくる必要があるのではないか。
  - ウ 非正規職員の対応については、本人の意向を尊重するとともに真摯な対応と援助を。
  - エ 第二次計画について、第一次計画の進捗状況を考慮しながら柔軟に対応とあるが、場合によっては公立で再整備することもあるのか。また、耐震工事はどうするのか。
  - オ 施設設置場所（地域）については、利用者のニーズを考慮すべきと考えるがいかがか。
- (3) 子ども・子育て関連三法等を受けて、本市独自の支援策の考えはあるか。

### **3 障害者の就労支援について**

- (1) 本年4月1日より法定雇用率が引き上げられた。本市の実態と就労支援に向けた取り組みは。
- (2) 「やまぐち障害者雇用推進企業認定制度」について、県の事業ではあるが、本市の雇用推進企業はゼロとなっている。市としても積極的な働きかけを。

#### 4 大型商業店舗の出店について

- (1) 青山町に大型商業店舗の出店が予想されている。仮に出店となれば交通環境、近隣地域の生活環境、さらには中心市街地との関連などに大きく影響する。機敏な対応を。
- 

## 2 坂本心次（新誠会）

### 1 めくもりのある地域のネットワークづくりについて

- (1) 高齢者のみならず地域住民の心をつなぐもやいのネットワークを早急に整備する必要があるのではないか。
  - (2) アベノミクス効果を発揮させ、地域の経済循環をつくるため、それをコーディネートしている商工団体や地場産業振興センターのさらなる連携、育成が必要と考えるが、市としての取り組みは。
- 

## 3 岩田淳司（アクティブ）

### 1 公会計改革について

- (1) 現在政府による「経済財政諮問会議」において、地方公会計の企業会計化や固定資産台帳の整備などへの論議が急速に進んでいる。昨年12月、我が市でもこれらの問題を一括管理する組織をつくっていくとの答弁をされているが、それから現在までの進捗状況はどうか。
  - ア 専門組織はできているのか。
  - イ これから発表される「施設白書」は、固定資産台帳整備へも反映されていくものになるのか。
  - ウ 早くに合併した我が市はこれらの問題に他の市町より先行して取り組まなければならないと思うがいかがか。

### 2 障害福祉施策について

- (1) 障害者の就労支援について
    - ア 我が市ではどのような障害者就労支援があるのか。
    - イ 周南市内の企業に「特例子会社制度」を活用し、障害者の就労を促進してもらいたいが、市としてこれを積極的に働きかけてはどうか。
  - (2) 第3期障害福祉計画の進捗について
    - ア これまでに開設された障害福祉サービス事業所と今後のサービスの展開は。
    - イ 指定相談支援サービスについて
      - (ア) この支援の意義は何か。
      - (イ) 計画の進捗ぐあいは大丈夫か。
- 

## 4 小林雄二（刷新クラブ）

### 1 市営住宅の需給状況と今後の方向性について

- (1) 地域別に見た市営住宅の申し込み状況及び応募倍率はどうか。
- (2) 入居申し込みが定期募集となっているが、随時募集は実施していないのか。
- (3) 申し込み資格（DVや母子家庭など）はどうなっているのか。

- (4) 借り上げ型市営住宅が検討されていたが、市内全域の今後の市営住宅のあり方とどう関連して進めていくのか。

## 2 新庁舎建設に向けた行政の取り組みについて

- (1) 新たな公共施設再配置計画策定という状況の中、庁舎建設の説明会やシンポジウムが実施されたが、市民の反応をどう受けとめているか。
- (2) 地方自治法による総合支所や支所の機能は維持すると言われるが、公民館や出先機関も含めた行政サービスの提供などの検討が出先機関再配置プロジェクトチームで始められているが、どうつながっているのか明確でない。新庁舎の役割と、とりわけ総合支所・支所の機能を具体的にもっと説明すべきではないか。

## 3 小中学校適正規模再配置について

- (1) 教育委員会に平成19年3月26日、学校規模及び学校配置のあり方が周南市学校再配置計画策定協議会から答申された。計画期間は5年間であったが、平成24年度以降もこの実施計画が実施されているのか。
- (2) 保護者・地域ニーズを踏まえた計画の見直しの検討はあるのか。
- (3) 現在、休校から廃校への手続の動きがあるが、教育委員会として遂行しているのか。

---

# 5 土屋晴巳（新誠会）

## 1 周南市地産地消促進計画（案）について

- (1) 作成背景や趣旨、基本方針は。また、なぜ今策定するのか。
- (2) 計画最終年度の平成27年度の具体的目標数値が明記されているが、達成可能な数値目標なのか。また、達成のためには横断的な取り組みや積極的な連携が必要と考えるがいかがか。
- (3) 既に策定の「周南市食農総合ビジョン」や「周南市食育推進計画」と具体的にどのように連携・連動していく予定なのか。

## 2 学校や保育所での給食による食物アレルギーショック（アナフィラキシーショック）発生時の対応について

- (1) 本市の場合、学校給食においては食物アレルギーのある児童・生徒に対して除去対応を行っているが、実際にアナフィラキシーショックが発生した事例はあるのか。
- ア 保育所の場合も食物アレルギーに対しては除去対応をしているのか。
- イ 保育所において、アナフィラキシーショックが発生した事例はあるのか。
- (2) 緊急対処薬（アドレナリン注射液「エピペン」）は児童・生徒本人が携帯・管理していると思うが、そのことを学校サイドは把握しているのか。
- ア 保育所の場合も把握しているか。
- イ 「エピペン」の使用については、全教職員（保育士含む）が適切な対応がとれるのか。
- (3) 学校と家庭、保育所と家庭でアレルギー情報の共有化や発生時の対応等について了解・同意は得られているのか。
- (4) 対応ガイドライン、マニュアルは作成されているのか。また、保護者へ周知されているのか。

---

## 6 西田宏三（周南会）

### 1 周南市における農業委員会の活動状況について

- (1) 農業委員会の位置づけと設置の背景は。
- (2) 総会は月何回開催しているか。
- (3) 農地基本台帳は、農家の方の耕作面積（田・畑）が記載されている。二市二町が合併して10年が経過するが、10年前と現在とでは、耕作面積はどのようになっているか。また、この台帳は一般の方にも閲覧できるのか。
- (4) 農業を守るという観点から、農地転用についてどのように考えているか。また、国土交通省・農林水産省との絡みがあるが、どのように対処しているか。
- (5) 都市計画区域には、市街化区域と市街化調整区域という区分がある。特に市街化調整区域は農地転用には非常に厳しい規制があるが、その規制とはどのようなものか。
- (6) 農業振興地域内の農用地のここ10年間の状況は。
- (7) 食料の自給自足を守るということが大前提であるが、周南市での農地面積はどんどん狭まっている事実や、簡単に農地が住宅地等に転用されている事実がある。徹底した情報公開が必要ではないか。
- (8) 将来的に市として、周南市の農業の方向性をどのように考えているのか。

---

## 7 長嶺敏昭（参輝会）

### 1 新たな「周南市公共施設再配置計画」について

- (1) 議会が指摘した行政改革の実を市民に示すためには、市民が納得できる揺るぎない計画を立てるとともに、目に見える形で何らかの成果を早急に示すことだがどうか。
- (2) 新たな計画においても現況資料にほかならない「施設白書」の役割は何か。
- (3) 撤回した前回の計画案の反省を踏まえて、何が必要か。
  - ア 新庁舎や新駅ビルなどの新たな大型公共施設投資に話題が先行し、市民活動・地域運営などの全体像がいまだに見えないがどうか。
  - イ 広い周南市、バリアは庁舎の段差ばかりではない。地域性への配慮、説得力が欠落しているがどうか。
  - ウ ほかに新たな計画に反映されるべき観点、方針にはどんなものがあるのか。
- (4) 古い公共施設の解体促進につながる地方債の用途拡充の法案が来年初めには国会に提出されると聞く。課題であった公共施設の総量抑制には大きなチャンスとなる。来年3月には示すという新たな「周南市公共施設再配置計画」の実践において、合併特例債など地方債活用に財務面で影響を与えることになると思うが、総量抑制に決断と柔軟な対応が求められるがどうか。
- (5) 鹿野地域で過疎債の運用できる期間の終了が迫るが、公共施設の再配置とリンクした形での持続可能な地域づくりに、過疎地域自立促進計画の変更を早急に取りまとめるべきだがどうか。また、本庁は北部周辺部政策をリードし、鹿野総合支所等をバックアップできるのか。

## 2 「(仮称)ゾウさんの餌プロジェクト」の必要性について

- (1) スリランカゾウ 2 頭の仮設展示舎の改築がほぼ整ったようだが、受け入れ、展示開始などのスケジュールはどうか。
    - ア 受け入れセレモニー、愛称募集（日本名）などの計画は準備が進んでいるのか。
    - イ スリランカ国との今後の友好・交流関係、現地飼育員らの滞在、処遇はどうか。
    - ウ これまでとは違った飼育・展示で話題になると思われる動物園のコスト増などの課題や来場者対策はどうか。
  - (2) 1 日 2 0 0 キログラムもの餌が必要と思われる象が 2 頭になると、これまで以上に年間を通して餌の確保が課題ではないか。対応できるのか。
  - (3) 象だけではなく、動物の餌の確保に市の遊休地や農家の休耕地を組織的に利用するため、財産管理、中山間地域振興、コンベンション推進、教育効果など関係各課の連携で一石二鳥のプロジェクトを立ち上げてはどうか。
  - (4) 長期間のリニューアル工事が進む中で、象の導入、工事が近く始まる体験ゾーンの供用開始などのスケジュールの広報に加え、「ゾウさんの餌プロジェクト」など、徳山動物園を応援する周南市らしいパブリシティを展開するべきと考えるがどうか。
  - (5) 周南市民には特別な存在である動物園の今後の飛躍のために、市民のアイデアを新たに募ってはどうか。
- 

## 8 田村隆嘉（刷新クラブ）

### 1 住みやすいまち、住み続けたいと思うまちづくりについて

- (1) 周南市中心市街地活性化基本計画について問う。
    - ア 内閣府の認定を受ける目的、メリットは。
    - イ 旧基本計画に対する反省とその改善策は。
    - ウ 旧基本計画にあった徳山駅南側の整備の考えは。
    - エ 基本計画の理念、基本方針を市民に P R し、周知することが重要であると考えているが、どのように取り組むのか。
  - (2) 生活交通の活性化について問う。
    - ア 生活交通活性化の必要性について、どのように認識しているのか。
    - イ 周南市生活交通活性化計画における平成 2 4 年度の取り組みと実績は。
    - ウ 次期計画の策定をどのように進めていくのか。
- 

## 9 中村富美子

### 1 周南市公立保育所の再編整備について

- (1) 民営化について
  - ア 公的保育の後退と考えるがどうか。
  - イ 嘱託職員等はどうなるのか。
  - ウ 新設や施設整備は公立では一般財源化されて困難というが、その理由を。
- (2) 福川保育園・若山保育園の再編整備方針について

- ア 説明会で保護者からどのような意見が出たか。
- イ 若山保育園に統合し、民営化後に定員200人規模で建てかえる計画だが、国が定める最低基準（現行）は守れるのか。
- ウ 送迎用の十分な駐車場の確保はできるのか。

(3) 夜市・戸田・湯野地域の保育所整備について

- ア この地域に保育所を整備することを、再編整備計画の中で検討したか。検討したのであればその内容は。
- イ 若山保育園の200人定員は規模が大きく、安心安全が懸念される。夜市・戸田・湯野地域に整備することを再考できないか。

## 2 教育行政について

- (1) 文部科学省の学校環境衛生基準では、教室の温度は30度以下が望ましいとある。暑さ対策として小中学校に扇風機の整備を。
- (2) 学校の耐震化の進捗状況は。前倒して実施すべきではないか。

---

## 10 相本政利（公明党）

### 1 周南市公営住宅の取り組みについて

- (1) 平成23年3月に策定された「公営住宅等長寿命化計画」について問う。
  - ア 「公営住宅ストック総合活用計画」との関係や整合性は。
  - イ 建てかえ及び用途廃止についての考えは。
  - ウ 個別改善について、特に高齢者への対応は。
  - エ 民間事業と連携した建てかえ事業の計画及びその進捗は。
  - オ 本計画途中の現在、市民からの要望状況（戸数・居住性・安全性・環境等）及びその対応は。

### 2 学校給食における食物アレルギー対応について

- (1) 現状の対応について問う。
  - ア 食物アレルギーを有する児童の状況は。
  - イ 学校や各給食センターの対応は。
  - ウ 平成26年度より運用開始予定の（仮称）熊毛学校給食センターでの対応計画は。
- (2) アレルギー疾患の緊急時対応について問う。
  - ア アドレナリン自己注射薬の処方を受けている児童を把握しているか。
  - イ これまでの市内・県内の緊急対応事例は。
  - ウ 学校における対応のマニュアル化や研修会の状況は。

---

## 11 金子優子（公明党）

### 1 周南市の健康づくりについて

- (1) 周南市健康づくり計画について問う。
  - ア 平成23年度に周南市健康づくり計画が見直され、「こころの元気と休養」と「健康管理」の2項目が5年間で取り組む重点目標として掲げているが、これまでの具体的な取り組みと成果は。

イ 健康マイレージ事業の導入を進めてはどうか。

## 2 女性専門外来の設置について

(1) 市民病院に女性専門外来の設置はできないか。

## 3 救急医療情報キット普及事業について

(1) 一部地域でモデル事業としてキットが配布されたが、利用状況と成果を伺う。

(2) 今後、全市へ進めていく計画はあるのか。

## 4 周南市子ども・子育て支援事業計画策定について

(1) 業務委託先とニーズ調査対象者を選ぶ基本理念について伺う。

(2) 「周南市子ども育成支援対策審議会」について伺う。

ア 委員はどのようなメンバーで構成されているのか。

イ 審議会の今後の方向性は。

---

## 1 2 吉平龍司（公明党）

### 1 地域防災力の機能について

(1) 災害対策本部の初動体制の確保、防災センター的機能の拠点が求められると思うが、現状はどうか。

(2) 災害時における要援護者支援について

ア 自力で避難困難な高齢者や障害者の方々の災害時要援護者名簿作成の取り組みは。

イ 避難所における被災者の生活環境整備や地域における運営体制づくりは。

(3) 東日本大震災で、電子化された住民基本データが流出、破壊され初期の災害対応が遅れた教訓から「自治体クラウド導入」の重要性が高まっているが、本市の長時間停電対策を含むサーバー情報のバックアップ体制は。

### 2 熱中症対応について

(1) 今年は猛暑が続いているが、熱中症の疑いによる救急搬送の状況は昨年と比べてどうか。

(2) 熱中症に対する正確な予備知識や予防と対処法の周知は。

(3) 周南市涼みの駅の今後の拡充は。

(4) 小中学校の猛暑・熱中症対策の取り組みは。

---

## 1 3 岸村敬士（参輝会）

### 1 交通信号機について

(1) 市道の信号が長過ぎる。もっと短くなるように要望できないか。

(2) 周南警察署より少し北側の歩行者用押しボタン式信号機と、そのさらに北側の金剛山入口の歩行者用押しボタン式信号機が連動しているが単独にすべきだと思う。要望できないか。

### 2 大島の人工干潟について

(1) 進捗状況はどうなっているのか。

### 3 市が所有している美術品について

(1) 市が所有している美術品は何点あるのか。また、その価値は。

(2) 主だったものは市民に公開しているのか。

#### 4 沼城小学校の外壁の塗装、体育館の屋根の色について

- (1) 沼城小学校の校舎の外壁が汚れ過ぎている。至急塗装をすべきだがどうか。
- (2) 体育館の屋根の色がさまざまだが統一できないか。

---

### 1 4 古谷幸男（参輝会）

#### 1 新庁舎建設について

- (1) 新庁舎建設のシンポジウムが開催され「最近の新庁舎の設計について」と題し、株式会社日建設計設計部門副代表兼設計部長である若林氏の基調講演とパネルディスカッションが行われた。その成果についてどのように捉えているのか。
- (2) 市長は新庁舎は現在地に建設すると明確に方針として言われている。市民館、新駅ビル、港町庁舎との整合性についてどのように考えているのか。また、総合支所、支所の機能を全て残すとも明言されたが、全体の公共施設再配置との整合性についてその方針と今後の進め方について問う。

---

### 1 5 青木義雄（参輝会）

#### 1 マニフェストの検証について

- (1) 木村市政が誕生して2年が経過した。マニフェストの検証をする時期と心得る。何を公約に掲げて、それはどこまで達成できたのか。

#### 2 いじめ防止対策について

- (1) 今年の第183回通常国会において「いじめ防止対策推進法」が成立し、6月28日に公布された。これを受けて、今後のいじめ対策にどのように取り組むことになるのか全体的な方向性を問う。

#### 3 中学校卒業後の未就職者の支援について

- (1) 中学生の進路先と割合は。また、その推移はどうか。
- (2) 15歳で社会に出る青少年の現状は厳しいものがあるのではないか。その認識と青少年育成という観点からのさまざまなサポート体制はあるのか。

#### 4 自然の猛威にどう向かい合うのか

- (1) この夏も異常な暑さにより全国的に熱中症が頻発したが以下を問う。
  - ア 周南市の実態は把握できているのか。
  - イ 猛暑が年々加速する中で、健康やエネルギー消費、経済活動など、さまざまな影響が今後も増大することが予測されるがどのように対応するのか。
- (2) 7月の山口・島根豪雨では「これまでに経験したことのないような大雨」という表現で注意が呼びかけられた。8月の秋田・岩手豪雨でも同じ表現が出された。これまで経験のないような大雨に対応できる防災体制は構築できているのか。

#### 5 伝統行事の継承について

- (1) 地域にある歴史的な伝統行事は、後継者不足や高齢化、資金力低下などさまざまな課題を抱えており、伝統行事の継承を行政と協働で考え進めていく時期にあるのではないか。認識と基本的な考え方を問う。

## 6 夜景観光について

(1) 周南市のコンビナート工場夜景を主体とした夜景は全国に誇れる資源である。これを今後どのように展開していくのか。

ア 10月に周南市で開催される夜景サミットはまさに千載一遇の好機である。サミットの内容と周知はどうか。また、全市的なイベントとしての取り組みが進んでいるか。

イ 夜景に食や宿泊、他の観光資源をどのようにコラボレーションしていくのか。

---

## 16 井本義朗（アクティブ）

### 1 教育の日制定について

(1) 学校教育において、家庭・学校・地域社会が互いに信頼を持って連携を図っていくことの重要性が増している。また、教育関係者はその使命や役割を自覚し、意欲を持って教育に当たらなければならない。そこで、市独自に「教育の日」を制定し、社会全体で教育の振興に努めることに取り組んでみてはどうか。

### 2 防災行政について

(1) 災害時または災害の恐れのあるときのツイッターやフェイスブックの活用は進んでいるのか。

(2) 周南市において液状化の被害の想定はあるのか。

(3) ハザードマップについて

ア 洪水・土砂災害のハザードマップはどの程度の雨量を想定した被害予測なのか。また、内水氾濫も含めた被害予測か。

イ さまざまなハザードマップは災害の被害のイメージが固定化されるため、その想定の前提条件に注意が必要だと言われているが、市民への周知や理解の徹底はどうか。

(4) 市民レベルでの防災意識・知識の向上のために防災士の活用を考えるべきではないか。そこで、以下に問う。

ア 防災士資格取得者の今後の活用は。

イ 他の自治体では資格取得費用の補助や、地方でも取得しやすいように講座や試験を実施している。本市でも取り組んでみてはどうか。

(5) 今後、防災に対する調査・研究を各課にまたがるプロジェクトチームなどで組織的に行うべきではないか。

(6) 幼稚園や小中学校での災害対策について問う。

ア 災害時の児童生徒の引き渡しや待機方法について、あらかじめ手順やルールを保護者との間で決めるという取り組みが全国的に進んでいる。周南市での取り組み状況は。

イ 児童生徒を校内に待機させることを想定した備蓄品の整備状況は。

ウ 災害を想定した危機管理マニュアルの整備状況は。

---

## 17 友田秀明（周南会）

### 1 周南市の道路について

(1) 国道315号栄谷の杉ヶ峠隧道にかわる新トンネルの建設を進めるべきと考えるが、市の見解は。

- (2) 国道2号(周南バイパス)の高架道路建設は、風化してしまったのか。現状と今後の見通し、さらに周南市としての考えや取り組みはあるのか。
- (3) 徳山駅の東には東西の幹線道路が国道2号と県道347号下松新南陽線(旧2号)の2ルートしかない。産業道路の東進と市道泉原合田藪線舞車橋から東の市道大迫田代々木線へつなぎ、さらに東進させ榑ヶ浜久米線へとつなぐ新設道路が必要と考えるが見解は。
- (4) 新南陽、野村一丁目7号線の開通にあわせて、東ソー引き込み線跡地を道路にして、7号線に接続すべきと提案するがどうか。
- (5) 新南陽駅に南北自由通路ができないか検討してみてもどうか。
- (6) 和田地区から湯野、鹿野へと通じる県道192号串戸田線の湯野峠、県道180号鹿野夜市線の熊坂峠の現状と今後の拡張整備について見通しと取り組みはどうか。

## 2 周南市のひきこもりへの対応について

- (1) 従来ひきこもりは若年者の問題であると考えられ、不登校問題と同一視され支援対象を若年層に想定していたが、ひきこもりの長期化や社会に出た後にひきこもりになってしまうなど、30代、40代の年齢層が多く、親も高齢になり成人のひきこもりが大きな問題となっているが、本市の状況を十分に把握しているのか。また、対策はしているのか。

---

## 18 伴 凱友(周南会)

### 1 本庁舎建設は結論ありきでなく、現庁舎の利用を含めたさまざまな方法の検討について

- (1) 現庁舎の耐震補強についていろいろな工法での費用を示し、検討すべきである。瀬戸見町の第3市営住宅10棟耐震補強改修はアウトフレーム工法で、費用は約5億円である。現庁舎の耐震補強費用が83億円というのは、面積比から見ても異常に高額である。特定の工事だけの表示でなく、いろいろな工法での改修費用の数値を示し検討すべきではないか。
- (2) ネットワーク型の庁舎を考えるべきである。8月17日の庁舎建設シンポジウムでも、パネラーも含め、無駄な費用を抑え、ソフトなやさしい庁舎をとという意見が多かった。市民に現在地での大型新庁舎建設という結論を押しつけず、既存施設を使用するネットワーク型の庁舎を目指す道も再考すべきではないか。

### 2 熊毛地区に対する都市計画税の撤廃について

- (1) 熊毛地区は公立保育所再編整備計画では中山間地域等へ分類されており、事業の民間の引き受け手がない地区である。そこがなぜ都市計画税の対象になるのか。
- (2) このように行政の都合に合わせて、地域を規定するのは矛盾し、市の御都合主義であり、これからの都市計画が定まっていないからではないか。熊毛地区に将来の地域計画がないのであれば、都市計画税を取るべきでないと思うがどうか。

### 3 合併後の災害対策について

- (1) 合併後の広い地域で環境がさまざまであり、県の発表する気象情報も、中心部と熊毛・鹿野地区では違い過ぎる。気象情報は周南中心部、西部、東部、北部などに分けるよう市として要望してはどうか。

#### 4 公益財団法人周南市ふるさと振興財団の経営、特にふるさと産品の店「こあ」の経営改善について

(1) 市としての考え方を問う。

ア ふるさと振興財団が進めているふるさと通信会員は、20年以上たった今も200名程度である。ふるさと通信事業の採算が合うところまでの会員獲得目標を立て実行すべきではないか。

イ 「こあ」の場所は、美術館・文化会館・動物園への途上であり、営業のためには好立地であるが、土日の営業がなく、お客を引き寄せていない。宝の持ち腐れであり、営業上の工夫をすべきではないか。

#### 5 電算処理システム経費の節減対策について

(1) 現在の地方自治体の電算処理には致命的欠陥がある。それは各自治体がシステム設計を業者に任せ切りで、それぞれ勝手なシステムが稼働しているからである。そのため、システム改修費は非常識な高額となっているが自治体は随意契約を断れない。この対策は当市だけでできる課題ではないので、国への働きかけをするべきではないか。国が標準のシステムを示す、あるいはシステムのJIS規格をつくる。業者がそれに合わせたシステムをつくれれば、市の管理できるシステムになり得る。そうすれば全国の自治体のシステム経費は大幅にダウンするのではないか。

---

### 19 長谷川和美（周南会）

#### 1 新庁舎建設は安心安全か

(1) 整備方針はどこが、いつ、どのような方法で決めたのか。

(2) 新庁舎建設に係る基本方針（平成24年1月）で、基本的考え方として、1、場所は現庁舎の敷地内、2、事業手法は一括整備による全面建替、3、規模は将来に本庁機能（消防以外）を集約できる規模、4、財源は基金設置による財政負担の平準化の4点を挙げているが、以上の4点で十分と考えているのか。

(3) 新庁舎建設による周南市の防災体制の方向性は。

#### 2 徳山駅の浸水対策について

(1) 本年7月3日の徳山駅前（北口）浸水対策連絡協議会での住民説明の内容は。

(2) 今後の方向性は。

---

### 20 島津幸男（周南会）

#### 1 庁舎建設検討市民委員会とシンポジウム（8月17日）のあり方について

(1) 今回のシンポジウムと検討委員会における数字の見直しや誤りはないか。

(2) シンポジウム運営に問題はなかったか。

(3) 議会での問題提起の検討は。また、シンポジウムでの質問への対応は。

#### 2 危機状況下の市長の対応のあり方について

(1) 7月21日から8月10日までの市長業務の内容は。

(2) 初期対応に課題はないのか。

(3) 周南の名声を高めるための方策は。

(4) 危機管理に対するトップ（市長）のあり方は。

---

## **2 1 兼重 元（新誠会）**

### **1 現状の市行政サービスの仕組みは周南市にふさわしいのか**

(1) 合併後の新市の現状に市民はどのように感じていると思うか見解を問う。